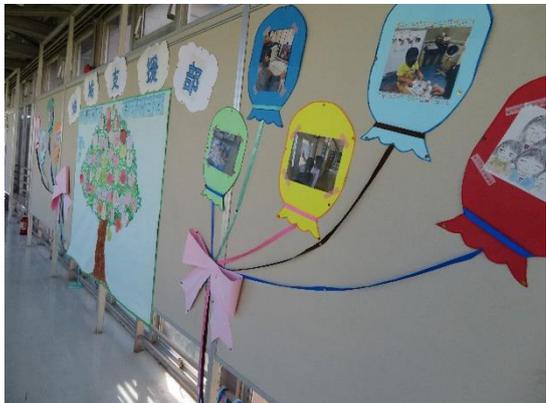


聾学校地域支援だより

聾学校で学習発表会が行われました



10月22日(土)、聾学校で学習発表会が行われました。地域支援部の展示では、「聾学校で楽しいこと」と題し、聾学校の通級指導教室や教育相談を利用している児童生徒に書いてもらったものを展示しました。聾学校で勉強する友達の多さに喜んでいる児童もいました。聾学校にお越しの際は、ぜひご覧ください。



オータムスクールを開催しました



本校通級指導教室親の会でオータムスクールを実施いたしました。保護者は座談会、児童は工作活動(クリスマスツリー作り)をしました。座談会では楽しい雰囲気の中、お互いの情報を共有しました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

○ロジャー(マイク)の活用について

- ・テレビや iPad、CD プレイヤー等と繋いで、音を直接入れている。
- ・自分に必要な配慮として理解し、自分で先生にお願いできるようになって欲しい。

○英語についての対応

- ・英検や定期テストのリスニングでテロップ代替にもらった。本人に自信がついた。
- ・英検の面接では、口話や筆談、フラッシュカード等の答え方を選ぶことができた。

座談会の内容

○在籍校での配慮について

- ・プールの授業では個別で声をかけてもらっている。
- ・マイクの使用等を配慮してもらっているが、本人から依頼することが大事だと思ひ、本人が在籍校と相談している。



○受験に関して

- ・面接の時に対応できるか不安を抱えている。面接がない高校を選んだ。
- ・受験先の個別相談会を利用したことがある。

○その他にも...

- ・子どもから人工内耳の費用について聞かれた。
- ・小学校在籍の時の合唱がロパクだった。
- ・ドラマの影響を受けて、難聴に対する周りの反応が変わった。など

工作活動の様子



もじピットンも一緒に考えたよ!

ツリーに何を貼ろうかなー?



地域の学校の先生方と研修を行いました

10月6日 難聴学級の担任の先生方との研修
〈内容〉

- ・運動会等、学校行事での聞こえの支援
- ・複数の学年の子どもが在籍する場合の工夫
- ・音楽の授業での支援
- ・進路について

10月11日 通級指導教室の先生方との研修
〈内容〉

- ・自己認識を高めるための指導
- ・在籍学級の子どもたちへの伝え方
- ・学校訪問の際の視点

お忙しい中、ご参加いただいた先生方、ありがとうございました。
先生方からたくさんの感想をいただきましたので、いくつかご紹介します。

難聴の児童を担当するのが、今年度初めてだったので、他の先生方が悩まれていること、難聴の児童がどういう場面で困り感を感じるか等、先生方の考えや意見を聞くことができ、大変勉強になりました。

難聴の子どもさんに対する支援は、自己肯定感を高められるようにしたり、困り感を把握したりする点で、構音や吃音児に対する指導や支援と共通するものがあると感じました。

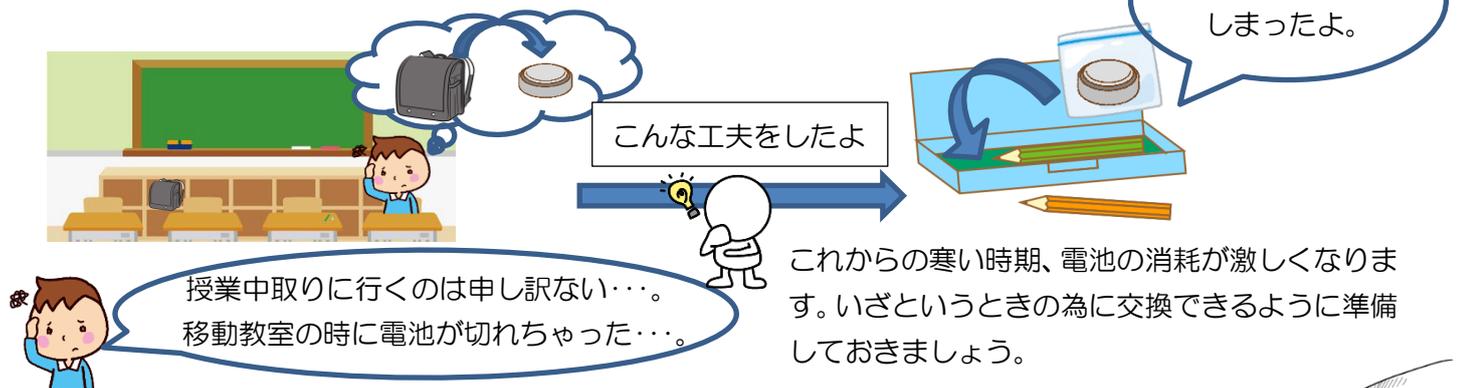
運動会や、音楽の授業での話では、皆さんに共通な思いがあることがわかりました。先生方の話をお聞きし、今後の授業で取り入れていきたいと思えます。

実際に指導をしていく中で、日頃の疑問や不安を解消するためのとても有意義な研修でした。

補聴機器の電池交換と補聴援助システムの活用

学校で補聴器や人工内耳の電池が切れた時、交換できていますか？

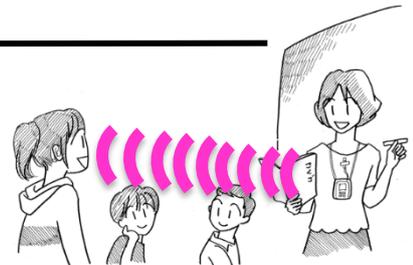
補聴援助システム（ロジャーやミニマイク等）の正しい使い方、知っていますか？



補聴援助システムの使い方（ロジャー、ミニマイク、エデュマイク等）



- ①マイクの部分（ ← の部分）に名札や服がこすれると雑音が入ってしまいます。
- ②聞く必要の無い時（机間巡視や休み時間等）は、ミュートボタン（ ○ の部分）を活用しましょう。



正しく使わないと、逆に聞こえにくくなってしまうことも…。確認しておきましょう。
その他の使用方法（ICT 機器への接続等）についてもお気軽にお問い合わせください。